

第10期中野区健康福祉審議会 地域福祉・成年後見部会(第1回)

開催日 令和5年4月17日(月)午後7:30~7:55

開催場所 中野区役所 第8会議室(7階)

出席者

1. 地域福祉・成年後見部会委員

出席者 和気 純子、奈良 浩二、中山 浩一、荒岡 めぐみ、宮澤 百合子、
白岩 裕子、松山 聡、丸山 貴士、保田 響

欠席者 稲葉 剛、黒木 伸子

2. 事務局

健康福祉部 福祉推進課長 中谷 博

健康福祉部 福祉推進課 佐々木 恵子、松石 隼

【議 事】

○中谷福祉推進課長

それでは、全体会同様に、部会長と副部会長が選出されるまでの間、事務局で進行役を務めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。その後、部会長に進行をお願いしたいと思います。

まず全体会の中では自己紹介の時間がとれなかったもので、これから各部会に分かれて具体的な審議を進めていくに当たって、どういった方なのか少しお互いに分かったほうがよろしいかと思っておりますので、改めて皆様から簡単に自己紹介をしていただきたいと思います。1人1分以内ぐらいでご専門や活躍の分野ですとか、ご関心やご経験など、この地域福祉・成年後見部会に関わりのある部分について少し触れてご紹介いただければと思います。

私の左手側の方から順番に時計回りで自己紹介をお願いいたします。

○奈良委員

皆さんこんばんは。社会福祉協議会の事務局長を務めております奈良浩二と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私、この4月から中野区社会福祉協議会に参りまして、まだ2週間ほどですので、あまり知識もありませんので、この場でも勉強させていただきながら、しっかり役割を果たしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○白岩委員

皆様こんばんは。白岩と申します。私は中野区介護サービス事業所連絡会といたしまして、中野区の介護サービスの事業所が7~8割ですか。ケアマネジャーさんの事業所でいうとほぼ入っている団体でございます。そこで副会長しております。仕事のほうは、白鷺一丁目の高齢者施設しらさぎ桜苑というところにおります。社会福祉法人武蔵野療園しらさぎ桜苑に勤めています。どうぞよろしくお願いいたします。

○丸山委員

公募区民の丸山と申します。よろしくお願いいたします。

皆様のように何かの専門というわけではないのですけれども、中野で生まれ育ちまして、新井小学校や中野区立第五中学校を卒業して、結婚を機にまた中野区に戻ってきたのですけれども、

現在2人の子どもがいて、私の妻はアメリカ人なので、ハーフの大分かわいい子がいるのですけれども、長男が4月からの幼稚園になりまして、下の子は1歳3か月ほどなのですけれども、少しでも皆様の力になれるように、ご指導を仰ぎながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○保田委員

皆さんこんばんは。保田響と申します。私も公募区民で中央のところに住んでおります。

私も全く専門というものがなくて、今年4月から大学院に進学しまして、一応、法律学、法学分野の博士後期課程をやっておりますので、全く微力ながら、貢献できるか疑わしいところであるのですけれども、法律的なところとかから何か皆さんと議論できるのであれば幸いです。よろしくお願いいたします。

○和気委員

先ほどもご挨拶させていただきました和気と申します。現在、東京都立大学に勤めております。

中野区とのお付き合いは結構長いのですけれども、こちらの地域のほうも前期から加わらせていただきまして、非常に顔見知りの皆様方とまた3年間になってしまったのかというところで、地域包括ケア推進会議でもご一緒させていただいておりますが、すごくフレッシュなメンバーが入ってきましたので、また新しい視点をぜひ入れていただいて、楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

○荒岡委員

荒岡と申します。民生児童委員協議会から来ております。民生委員になって10年目になります。桃園地区という、この区役所と駅の南側、中野三丁目から堀越学園ぐらまでの地域を桃園地区というのですが、その地区で会長をして7年目ぐらいになります。

個人的にはいろいろなことやっています、まず職業は保育士で、今は、保育園はもう退職して、中部すこやか福祉センターの2階にある子育て広場で仕事しております。

民生委員は皆さん高齢者のことばかりというイメージもあるのですが、児童委員というのも兼ねておりまして、ついこの間まで、小学生の新1年生の下校のお手伝いをしたり、授業のお手伝いをしたりしています。保育士になる前は区立の学童クラブでも働いておりまして、支援の必要なお子さんの支援、介助とかもしておりました。

子どものことはとても気になっておりますので、いろいろお話を伺いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○中山委員

宮桃町会の中山といいます。中野区町会連合会から来ておりまして、実は僕の専門なんていうのは何もないのですけれども、12年前かな、「中野区地域支えあい活動の推進に関する条例」というのができまして、要するに高齢者とか障害者の見守り、支え合いということですね。見守り対象者名簿をもとに高齢者や障害者を訪問して、問題があれば関係機関につなげるとか、それからあとは私どもでやっているサロン活動、地域の居場所づくり、孤立しがちな人だとか、あるいは高齢者で、もうなかなか外に出られないような人を引っ張り出して、サロンに参加してもらって、お友達をつくってもらったり、いろいろとそういうところで人と人とのつながりをつくっていきたくていうことでやっています。

もう12年くらいになるのですけれども、途中でコロナの中断がありまして、実はコロナの中断のときにサロン活動も見守り訪問活動も一時中止してしまったのですが、その間にいろいろ起きたのです。中断して1か月半ぐらいで地域の中で孤立死をされる方がいて、これは大変だということで、同じ仲間同士で、その辺りを調べたところ、亡くなった方はその方1人だけだったのですけれども、

とにかくいろいろ悪い方向に進んでしまった。認知症の人が増えたとか、それから要介護の人が増えてしまって、施設に入所したり病院に入院したりする人が激増したのです。それでこれはまずいなど。ここでコロナ禍の最中ではあるけれども、活動を中止してしまうととんでもないことになるのではないかなということ、緊急事態宣言中ではあったのですけれども、1か月半ぐらいで活動を再開しました。

それで大変喜ばれたのです。地域で高齢者なんていうのは家族がいても邪魔者扱いされるとか、それから特にひとり暮らしの高齢者なんていうのは誰も相手にしてくれないわけですよ。だから、1人でぼつんと閉じこもっているうちに、どんどんどんどん悪い方向に進んでしまうということで、訪問を再開したらとても喜んでくれました。

そうやって初めは相手の方も警戒していたのですけれども、そのうち本音でいろいろしゃべってくれたりするようになって、いい方向に進んだなと思って、コロナ禍ではあったのですけれどもそんなことやって、でもやっぱりリスクは大きかったですよね。コロナをこっちで相手にうつしてもいけないし、うつされてもいけないしということで、もしこれでうつたりうつされたりしたら、それ見たことかという非難を受けたのだらうと思うのですけれども、やってよかったです。それは今後の活動の励みになるというか、続けていくという、我々の決意が正しかったのかなと、今でも思っています。

これからも進めていきたいなと思っています。

○宮澤委員

宮澤百合子と申します。中野区福祉団体連合会から参加させていただいています。

福祉団体連合会は今10の団体が所属しているのですけれども、私の所属というか会は、中野区愛育会という知的障害児者の親の会です。会員が300ぐらいですか。福祉団体連合会の中の団体では一番大きい団体です。あと40～50人とか10人に満たないとか、そういった会もありますので、どこの会も今高齢化で大変なことになっているようです。

私の子どもは知的障害があって、自閉症です。今26歳で、今までもこの夜の会議のときというのは、大体やまと荘というところに緊急一時保護のところがあったので、そちらにお願いしたのですけれども、この3月31日をもって閉鎖されてしまったのです。なので、今日は主人になるべく早く帰ってきてねと言って、私は6時半よりちょっと前に出てきたのですけれども、ちょうど玄関ですれ違うような形になったので、チンするものが置いてあるから、それをやるようにと早口で説明してきました。本当だったら、昼間だったらありがたいなと、いつも思いながら参加をしております。

今後のことを考えていくと、今26歳ですけれども、私が今58もうすぐ59になるのですけれども、会の中を見ても、70～80歳ぐらいのお母様たち、お父様たちもすごく多くて、成年後見のことも課題になり、3月に社協さんの成年後見のところで、親の会に来ていただいて、出前講座をしていただいたのですけれども、とても分かりやすいお話をさせていただいて、もっとみんなで勉強する機会をたくさんつくっていかねばいけないなと思っています。

地域での孤立ということも、例えば、親が1人で障害のある子どもさんがいる。そうすると、お母さん、お父さんが倒れたときに子どもが動けなく、動きがとれなくなってしまう、発見が遅くなってしまうとか、そういったケースも今後すごく課題になってくるのです。なので、そういったことも含めて、地域とのつながりというのをしっかりやっていただきたいなと。

町会によっても多分すごくこの温度差というのがあると思うのですけれども、中山会長のところからは、いろいろと活発にすごくやっていらっしゃるところなのですけれども、うちのところの町会は見守り名簿みたいな要支援者の掲載名簿をどうも持っていないらしいのです。今107ぐらいの町会があって、90幾つしか掲載された名簿を持っていないという話を聞いているので、本当はこれを何とかしてもらいたいなと、今すごく感じているところです。

前回に引き続き、また3年間どうぞよろしく願いいたします。

○松山委員

松山聡です。お隣の席の宮澤さんとは連携推進協議会で一緒にさせてもらっており、その協議会メンバーとしての立場で参加させてもらっています。

ふだんは司法書士をしておりまして、我々司法書士の団体であるリーガルサポートという公益社団法人の東京支部の役員もやっております。もちろん自分自身が成年後見人として、皆さんと一緒にさせてもらってもおりますので、多少なりとも、そんな話がお役に立てればと思って参加させてもらっています。どうぞよろしくお願いいたします。

○中谷福祉推進課長

事務局の職員もご紹介させていただきたいと思います。

改めまして、私は福祉推進課長の中谷と申します。よろしくお願いいたします。

今の職は2年目なのですが、3年に1回の計画改定時期で一番審議会が集中して審議を行う年度を担当させていただくのは初めてになりますので、至らない点が多々あるかもしれませんが、職員一同精いっぱい頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

○福祉推進課 佐々木

福祉推進課地域福祉推進係長の佐々木と申します。成年後見制度の利用促進計画を担当しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○福祉推進課 松石

福祉推進課健康福祉企画係の松石と申します。よろしくお願いいたします。

○中谷福祉推進課長

以上の3名で事務局をやっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、中野区健康福祉審議会条例施行規則第3条の規定に従いまして、部会長と副部会長のご選任をいただきたいと思います。差し支えなければ事務局の案をお示しさせていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○中谷福祉推進課長

ありがとうございます。それでは事務局の案をお示しいたします。

やはり学識経験者の方をお願いするのがよろしいかと存じまして、部会長は和気委員に、副部会長は、本日ご欠席ではありますが、稲葉委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○中谷福祉推進課長

異議ないようですので、そのように確認させていただきます。ありがとうございます。

それでは、和気先生からご挨拶をいただきたいと思います。

○和気部会長

挨拶は十分しましたので、稲葉先生のご紹介だけ。皆さんご存じかと思っておりますけれども、今日はお仕事でご欠席ですけれども、前回は副部会長を担当していただいて、よくマスコミですとか新聞とかでもよくお見かけする方ですけれども、特に地域において、貧困状態で住まいを失った方の居住支援ですとか権利擁護ですとか、そういうことで、いろいろ社会への発信をたくさんなさって

る方です。どうぞよろしく申し上げます。

○中谷福祉推進課長

ありがとうございました。

それでは、以降の議事進行は部会長にお願いしたいと思います。

○和気部会長

それでは次第に従って変更させていただきます。

まず初めに、先ほど4つの部会が設置されたところでございますが、改めて各部会に付託された事項について確認したいと思います。

当部会は、地域福祉・成年後見部会という名称で、付託事項は「中野区地域福祉計画に盛り込むべき基本的な考え方について」「中野区成年後見制度利用促進計画に盛り込むべき基本的な考え方について」となっております。

実質的な審議は次回以降進めてまいるといふことにさせていただきます、次回以降の日程を確認したいと思います。事務局、ご説明等をいただけますでしょうか。

○中谷福祉推進課長

では、本日席上にお配りしております資料をご覧いただきたいと思っております。第2回以降の部会のスケジュールと議題は、このように考えてございます。

具体的には、次回が5月29日。その後、6月、7月、8月、9月大体月に1回ぐらいのペースで部会を開きまして、9月の部会では報告書案をまとめていきたいと考えています。

9月26日に次の全体会がありまして、ここで各部会の審議経過を報告いただく予定です。最後に第7回の部会を11月に、ここでは各計画の素案についてご確認いただくようなスケジュールで予定してございます。

各回とも時間は午後7時から2時間程度を予定してございます。

ご説明は以上です。

○和気部会長

ありがとうございました。

○宮澤委員

それは今全部決まっているわけではない。

○中谷福祉推進課長

あくまで案なので、ご意見等をいただければ、また変更等の可能性はあります。

○和気部会長

こちらの原案ですけれども、今、宮澤委員からも、こちらに参加している間のお子さんの見守りケアといいますか、急に言っては無理かもしれませんが、私の地域の自治体では、大分前ですけれども、子どもが小さかった頃に配偶者が子育て関係の委員会に出る委員になったときに、市がそこに連れて行って、遊び場みたいなものを設けてくれて、1人だけではなかったのですけれども、委員会の期間中、子育てを支援してくれたという、大分前ですけれどもありましたので、ぜひ公的な、重要な役割でもありますので、急に予算をつけろというのは無理かも知れませんが、何か知恵がないかどうか。

○宮澤委員

ただ、本人がなれない場所に連れていくとなると、そうなのです。それがあるので、家にいるのが一番なので、なるべく1人でいる時間、留守番は何とかできるので、主人と私がいらない1人の時間をなるべく少なくしようとしていますので。

○和気部会長

なので、多分、お一人お一人いろいろな事情があるかと思えますけれども、委員が参加しやすいような、時間設定とかも変えられないのかもしれませんが、いろいろご要望をお聞きして、何か調整できることがもしあれば。

全体会とかは無理でも、もしかしたら何か少しでも調整できることがあるかもしれない。

○宮澤委員

でも、皆さん多分普通にお仕事をされている方が多いので、夜とかのほうが出やすいですよ、きっと。

○保田委員

例えばZoomとか、ご自宅から参加されるというのが可能かどうか。

○和気部会長

中野区もやったこともありますよね。

○中谷福祉推進課長

ハイブリッドでやる可能性はあるかなと。

○和気部会長

今までもやっていたので、ハイブリッドのほうがよろしいですよ。毎回ではないにしても。

○宮澤委員

ただうるさくて全然駄目。この時間帯も私が結局集中できないので、やっぱり来るのが一番いいので、それは何とかします。

○和気部会長

でも無理な場合はぜひ言っていただいて、ハイブリッドも調整できると思いますので。

○宮澤委員

ありがとうございます。

○和気部会長

皆様のご要望をぜひ言っていただければと思います。

そのほかいかがでしょうか。

○丸山委員

特に、私はどの時間でも。

○白岩委員

私は5月だけ今、予定が入ってしまっていて、調整してみますけれども、あとは大丈夫です。

○和気部会長

まだ皆様のご予定は聞いてないのですよね。聞いていないけれど、一応決めて部屋をとってあるみたいなそういう多分、状況。

これから出欠とかをとっていただいて、あまりにも欠席する方が多い場合は、また再検討があり得るということで。

○宮澤委員

大変なのですけれども、やっぱりここで集まって、和気先生ともいろいろなお話ができるのは、すごく私、自分自身のためにもなっているので。

○和気部会長

でも、いろいろご要望あったら、ぜひ遠慮なく、できるかどうか分からないですけれども、職員に申し出てください。

○中谷福祉推進課長

どうしてもご都合が合わない場合に、書面で意見を提出していただくという参加の方法もありますので、前期もそういったやり方でやっていたのですけれども、資料は開催日の2週間ほど前にお送りさせていただいて、お読み込みいただける時間を確保したいと考えています。

書式等は特に定めませんので、出欠のご連絡と併せてご意見をお送りいただければ、会議の場で披露させていただいて、それをもって参加いただいたことになるのかなと思ってございます。

詳しくは次回開催通知を資料と併せてお送りいたしますので、それだけご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

○和気部会長

それでは、次回第2回は5月29日を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

それでは事務局にお戻りいたします。

○中谷福祉推進課長

ありがとうございました。それでは、ほかの部会も終わっていきそうなので、全体会を再開いたしますので、また先ほどの席にお戻りください。

——了——